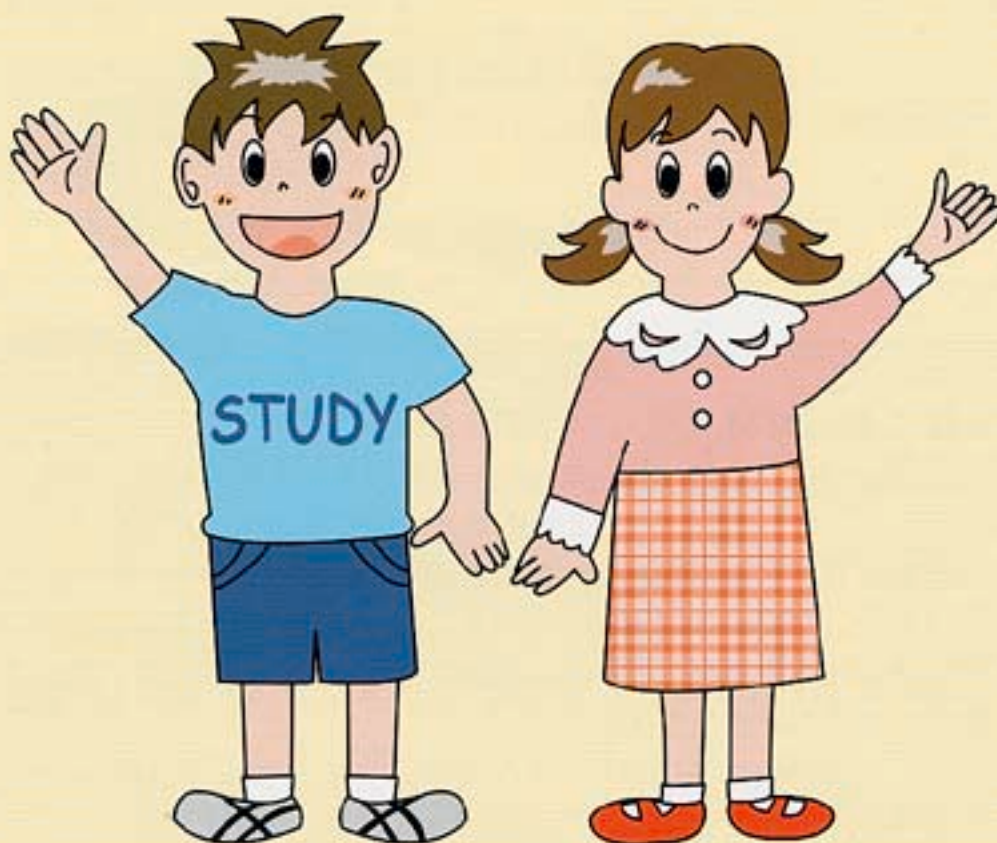


子どもたちとともにまちを考える

# いしかわの まちづくり学習の ススメ

—「総合的な学習の時間」に—  
—地域活動やまちづくり活動の活性化に—



## C ONTENTS

1. いしかわのまちづくり学習のねらい
2. やってみませんか？  
—いしかわのまちづくり学習の取り組み例—
3. 取り組むためのヒント

# 1. いしかわのまちづくり学習のねらい

## なぜ、「いしかわのまちづくり学習」なのか？

わたしたちの生活の基盤である「まち」が、快適で安心でき、安全に暮らすことのできる「まち」であるためには、まちに暮らすわたしたち住民の一人一人がまちを支えていくことが必要です。「いしかわのまちづくり学習」は、まちを支えることのできる人材育成をめざしてはじまりました。

特に、まちの未来を左右するのは、将来の主役である「子ども」たちです。子どもたちが早い段階から「まちづくり」に興味をもち、まちを支える大切な一員として「まちづくり」に参画することを通して、まちが一層活気にあふれ、子どもたちもまた、まちを学び、人を学び、生きる力をはぐくんでいくことを目的としています。

みなさんがお住いの地域や学校で、「いしかわのまちづくり学習」に取り組んでみてはいかがでしょうか。



## 「まち」を支える人材育成とは？

「いしかわのまちづくり学習」の人材育成の目標は、次の通りです。

### 1. まちへの愛着を育て、まちをよくする力を育む

まちづくりは、自分の住むまちを愛することからはじまります。自分の住むまちを愛してこそ、まちを振り返り、その問題点を見だし、さらにそれをよくしようという動機が生まれるからです。

### 2. まちづくりの基本を知る

実際にまちをよくするためにはどんなことをすればよいのかという、これまでのまちづくりの仕組みや取り組み手法などを学ぶことも大切です。それは身近なまちだけでなく、市域全体、県全体、日本全体からまちを見るといって、広い視野を獲得することでもあります。

### 3. 人々と交流し協調する能力を培う

まちづくりでもっとも重要なことは、そこに住む人々とのつながり、すなわちコミュニティづくりをめざすことです。人々が互いに協力しあうことで、まちを変える大きな力を生み出すことができます。

## まちづくり学習のステップとねらい

「いしかわのまちづくり学習」は、5つのステップを想定しています。

これらのステップは、必ずしも特定の年齢層に対応するものではありません。1から5へのステップを、小学生が、中学生が、さらに高校生、大人であるわたしたちが継続的に経験していくことが大切であると思われまます。

STEP

1

### わたしのまちはどんなまち？

#### 自分の住んでいるまちに関心をもつ（きっかけづくり）

まちづくり学習への入門編。「わたしたちの住んでいるまちはどんなまちだろうか？」という簡単な振り返りからはじめます

STEP

2

### わたしのまち大好き！

#### 自分の住んでいるまちが好きになる（動機付け）

自分の住んでいるまちを深く知ることによって、自分の身の回りの環境に対する愛情を育てます。

STEP

3

### 「まちづくり」って大切なこと！

#### まちづくりの必要性・重要性を認識する

自分の住んでいるまち、愛着をもったまちをよくするためには、どんなことをしなければならないのかを考えます。

STEP

4

### わたしのまち、こんなふうになったらいいな！

#### 自分の住んでいるまちをよくするための提案ができる

ここでは、身のまわりをよくするための提案を行える人づくりが目標となります。まちをよくすることの実現のためには、課題に基づいた掘り下げを行い、まちをもっとよく知ることが必要になってきます。

STEP

5

### みんなで考えよう！ わたしたちのまちづくり

#### 地域のまちづくりを主導することができる

まちづくりには正解や終わりがありません。自らの経験や知識、技能を応用しながら、責任ある選択をすることが重要になります。

## 2. やってみませんか？ -いしかわのまちづくり学習

すでに石川県内各地では、地域や学校、各自治体などでまちづくり学習の取り組みが進められています。

STEP

1

### わたしのまちは どんなまち？

#### ■まちづくり現場見学会



建設が進められている涌波トンネル工事現場を親子で見学。工作機械の操作などの体験をしました。  
(平成13年11月18日 親子まちづくり見学会)



輪島市では、商店街の方のお話をきき、まちなみを見学しました。(輪島市立河井町小学校)  
(平成13年10月30日・わじままちなみ探検隊)



金沢市大野町のまちづくり活動から生まれた「もろみ蔵」を見学し、町の人にお話をききました。  
(平成11年9月12日・子どもまちづくり塾)

STEP

2

### わたしのまち大好き！

#### ■まち・再発見ラリー(よいところ探し)

各地で再発見ラリーが開催されています。

平成9年 加賀市 (錦城小、錦城東小、錦城中)  
平成10年 七尾市 (小丸山小、山王小、御蔵中、東部中)  
平成11年 金沢市 (材木町小、味増蔵町小、馬場小、小符町中)  
平成12年 小松市 (芦城小、稚松小、芦城中、丸内中)  
平成13年 松任市 (松任小、松任中、公募)



みんなでまちを歩いて、よいところやよくないところを探し、写真を撮ります。



撮ってきた写真をポスターにまとめます。



できあがったポスターを発表します。

STEP

3

## まちづくりって大切なこと！

### ■まちづくり読本

まちづくりについて学ぶための読本『みんなで考えようわたしたちのまちづくり』



「読本」を使って、まちづくりについて学ぶ子どもまちづくり塾が開催されました。上は小学生コース、左が中学生コースの塾の様子です。

(平成11年9月12日 子どもまちづくり塾)

(平成12年10月15日 子どもまちづくり塾2000)



### ■まちづくりシミュレーション



みんなで建物の模型をつくって並べ、大きなまちをつくります。こんな家に住みたいな、という思いからはじまって、こんなまちに住みたいな、というところまで、まちづくりの擬似体験を行います。

(左 平成12年10月29日 「まちづくりワークショップ2000」身近な環境と子どもたちを考える会)

(右 平成13年8月5日 「みんなで考える楽しい未来のまち」身近な環境と子どもたちを考える会)

STEP  
4

わたしのまち、  
こんなふうになったらいいな！

■バリアフリー探検



根上町で行われたバリアフリー点検。普段何気なくあるいていたまちも、車いすに乗ると全く別の顔を見せてくれます。  
(平成13年8月1日 根上町子どもまちづくり探検隊)



金沢市で行われたバリアフリー点検。子どもたちが商店街を回りました。  
(平成11年10月25日 バリアフリー親子探検隊in富樫)



探検から考えた提案を発表する様子。  
(根上町子どもまちづくり探検隊)

STEP  
5

みんなで考えよう、  
わたしたちのまちづくり

■まちづくり提案



高校生による市街地活性化の提案授業。  
(金沢大学教育学部附属高等学校)



公園整備の案を、公園の利用者の一員として考えました。子どもの意見、お年寄りの意見、町内会の意見などが採り入れられた公園ができました。  
(金沢市東蚊爪公園)



毎日歩いている通学路の危険な個所などを点検し、良いところを探した後、劇や俳句などにして発表しました。(金沢市立馬場小学校)

# 3. 取り組むためのヒント

## (1) 教材の紹介

「いしかわのまちづくり学習」を進めるにあたって、参考となる教材の紹介をします。

### ●(財)いしかわまちづくりセンターの発行物●

『みんなで考えよう わたしたちのまちづくり：小学生版』 平成10年3月発行

『みんなで考えよう わたしたちのまちづくり：中学生版』 平成11年3月発行

石川県を中心としたまちづくりを考えるための読本です。中学生版と小学生版があります。本編だけでなく、指導者用の手引書もあります。また、小学生版に関しては、金沢市、小松市、加賀市、七尾市、輪島市、珠洲市、松任市、羽咋市、野々市町、津幡町、内灘町の各市町版がありません。

『いしかわのまちづくり学習プログラム集』 平成14年3月発行

石川県内で行われた個々のまちづくり学習のプログラムをいくつか紹介したものです。プログラムのねらい、準備するもの、やり方などが写真を使って具体的に記されています。

### ●インターネット・ホームページ●

まちづくり学習情報を掲載しています。

<http://www.pref.ishikawa.jp/machicen/index.htm>

## (2) 取り組み方のヒント

地域活動として、学校行事・授業として取り組む際には、地域住民、学校、行政、市民団体などの協力を得ると、とても充実した取り組みへと発展する可能性があります。

### 地域活動として

1. 地域をよく知り、地域の中で子どもたちや大人が交流するための活動をしてみたい。  
(まち・再発見ラリーなど)
2. 地域の課題に取り組む活動を行う。  
(公園や道路など、みんなで使う施設をもっとよくするための活動や提案。バリアフリー探検など)
3. 地域の大人たちが、まちの専門家として子どもたちと接する機会を創出する。  
(まちの専門家として、学校の活動に協力するなど)

### 学校教育活動として

1. 調べ学習や地域学習の一貫として、まちづくり学習の手法を取り入れる。  
(まちづくり現場見学会・まち再発見ラリーなど)
2. 自ら学び、自ら考え、自ら解決する力を養う学習の一貫として、まちづくり学習の手法と取り入れる。  
(まち再発見ラリー・バリアフリー探検など)
3. 地域の大人たちや専門家など、様々な人々との交流する機会としてまちづくり学習に取り組み、人と協調したり、議論したりする力をはぐくむ。  
(三世代遊び場マップづくり・まちづくりシミュレーションなど)

### 市民団体(NPO)など

・まちづくりを広く考えるイベントの実施。企画やプログラムの提案などで、地域や学校を支援

## 支援の紹介

(財) いしかわまちづくりセンターでは、地域や学校などでまちづくり学習に取り組もうとする指導者の方々を支援します。お気軽にお問い合わせ下さい。

### 1. まちづくり学習の相談

まちづくり学習に関する企画の相談、情報の提供など

### 2. 人材の紹介・派遣

地域や学校でのまちづくり活動に、講師やアドバイザーを紹介します。  
講師の派遣制度もあります。

### 3. 教材(道具)や参考書、資料、文献の貸し出し

まちづくりに関する資料の紹介や貸し出しを行います。  
カメラなどの教材の一部の貸し出しも行っています。  
必要な道具の貸し出しをしてくれる機関や団体の紹介もいたします。

### 4. 情報提供・情報発信

公共事業の紹介(道路や橋、トンネル、公園、公共施設などの建設情報や、各地のまちづくりの取り組みについての情報など、石川県内のまちづくりに関する様々な情報を提供します。  
また、ホームページなどによって、まちづくりに関する情報発信も行います。



問い合わせ先 (財) いしかわまちづくりセンター

〒920-8580 石川県金沢市広坂2丁目1番1号 石川県庁新館4F

☎ 076-223-9448 ☎ 076-223-0161

<http://www.pref.ishikawa.jp/machicen/index.htm>